

川崎異業種研究会(以下略称川異研)は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年に設立され、今年で22年目を迎えております。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

2月分科会報告

平成22年2月9日(火)中原市民館 第3会議室にて午後6時30分より開催、参加者5名を得て「経営承継円滑化法と中小企業の事業承継について」と題し、講師に㈱LR小川会計代表取締役で税理士の小川湧三氏を講師にお招きし開催された。今回の講演では、経営承継円滑化法の活用事例が増えてきた現状を踏まえ、制度の背景・趣旨と内容を再度ご講演頂いた。経営承継円滑化法とは中小企業の事業承継の円滑な推進を目的に制定され、現民法の相続に関わる問題点と相続・贈与に関わる税負担問題点をそれぞれ①民法の特例②相続税・贈与税の納税猶予という形で制度的に補完している。

特に②相続税・贈与税の納税猶予制度を利用することで後継者の範囲が子から親族(娘婿)まで拡大できる。

勿論、先代経営者が後継者を明確にし、経産大臣の確認や

家裁の許可を得ること、事業の継続性を厳格に要求される等税法上の特典を利用する上での規則・制約はあるが、事業承継を経営課題とする経営者には十分検討に値する制度であり、既に活用事例も増えてきており、中小企業の後継者問題対策として

十分検討すべき制度であると言える。

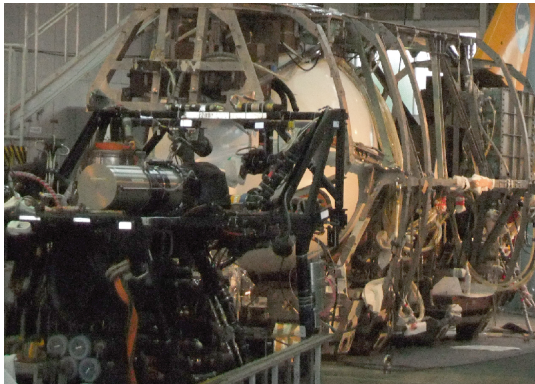
その後、場所を変えて講師を囲みながら和やかな雰囲気での懇親会を開催した。



2月定例会(県内視察会)

21年度は諸般の事情で県外視察会を行わなかったため、平成22年2月10日(水)14時横須賀市夏島町にある(独)海洋研究開発機構を視察した。当機構は、1971年に海洋の基盤的研究をする目的で設立され、2004年に現在の独立行政法人となる。愛称は、JAMSTEC(ジャムステック)といい、①地球環境変動研究②地球内部ダイナミクス研究③海洋・極限環境生物圏研究④海洋に関する基盤技術開発の役割を担っている。70%が海である地球は、地球環境の変化の鍵を握っているのも海であるので、当機構の役割は大きいといえる。当日は、参加者全員、京急追浜駅に集合し当機構に路線バスで移動。会議室にて概要説明の後、各施設を見学した。作業場内には、有人潜水調査船「しんかい6500」が現在メンテナンス中でドック入りしており、遠くからであったが実物を見学出来た。また、展示室には「しんかい2000」の実物とその模型が展示されており、各メンバーが操縦室に入りその「狭さ」を体験するなど、大変興味深い視察会となった。

その後、場所を移し盛大に懇親会を開催した。



加入のお問い合わせは

事務局:多摩麻生支所 TEL 044-932-1100